



心わり)諫早

児童発達支援センター
放課後等デイサービス

わたしたちが、大切にしていること

成功体験の積み重ねにより、
自信と自己肯定感を育む

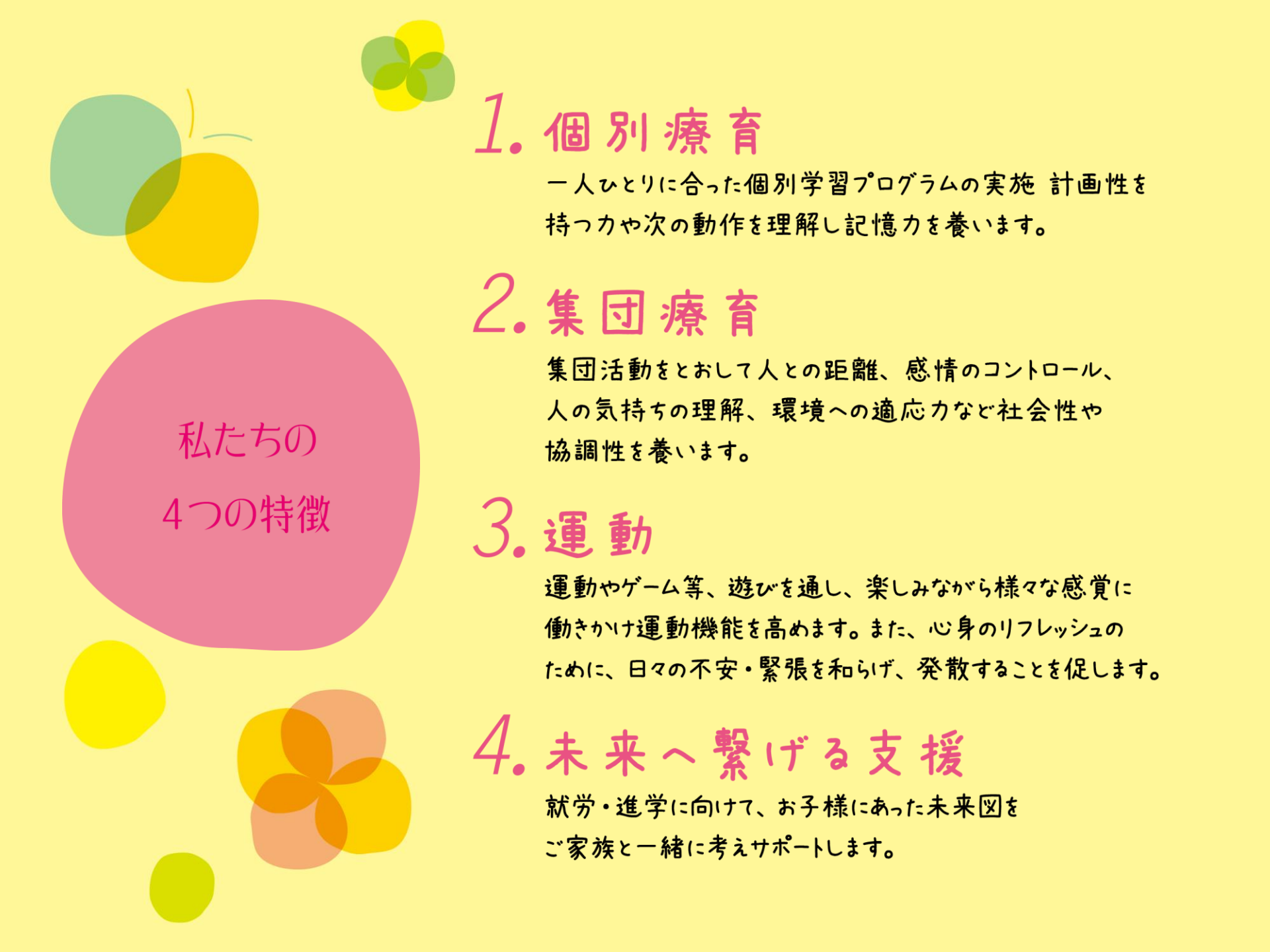
毎日の花丸、「できた!」など

数多くの成功体験を通して自分が好き、

自信をもってイキイキと生きる。

そんな子供たちの未来を創ります。





私たちの
4つの特徴

1. 個別療育

一人ひとりに合った個別学習プログラムの実施 計画性を持つ力や次の動作を理解し記憶力を養います。

2. 集団療育

集団活動をとおして人との距離、感情のコントロール、人の気持ちの理解、環境への適応力など社会性や協調性を養います。

3. 運動

運動やゲーム等、遊びを通し、楽しみながら様々な感覚に働きかけ運動機能を高めます。また、心身のリフレッシュのために、日々の不安・緊張を和らげ、発散することを促します。

4. 未来へ繋げる支援

就労・進学に向けて、お子様にあった未来図をご家族と一緒に考えサポートします。

ふわり諫早 児童発達支援センター 概要

一日の流れ

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|--------|---------------------------------|----|----|----|----|
| 9:00～ | 受け入れ・朝の準備 | | | | |
| 9:30 | 朝の会 | | | | |
| 9:45 | 自由遊び（プレイルーム） | | | | |
| 10:20 | 音楽 | 運動 | 音楽 | 運動 | 音楽 |
| | 個別療育 | | | | |
| 12:00 | 昼食 | | | | |
| 13:00 | 自由遊び | | | | |
| 14:00 | 集団活動 / おひさまタイム 個別活動 / ひよこタイム | | | | |
| 15:30 | 帰り準備 | | | | |
| 16:00～ | 送迎 | | | | |

※曜日ごとに違う活動は、月ごとに変動します。

3～5歳クラス

定員：20名（0歳6ヶ月～2歳を含む）

利用対象者：3歳から就学前の児童で、療育の観点から集団療育及び個別療育を行う必要があると認められる未就学の児童
※障害児通所支援受給者証が必要になります。

営業時間：月～金曜日 9:30～15:30

送迎：マイクロバスでの送迎のため、バス停までの送迎となります。ご希望の方は、ご相談ください。

ふわり諫早
放課後等
デイサービス
概要

一日の流れ

放課後等デイサービス（平日）

| | |
|-------|---|
| 13:00 | 送迎（学校終了後） 健康チェック（検温） 個別療育・集団療育・活動 |
| 15:00 | おやつ 個別療育・集団療育・活動 |
| 17:30 | 送迎（お迎え） |

放課後等デイサービス（祝日・長期休暇中）

| | |
|-------|--------------------------|
| 8:30 | 送迎 |
| 9:30 | 健康チェック |
| 10:00 | 始まりの会 個別療育 集団療育・活動 |
| 12:00 | 昼食 |
| 13:00 | 集団療育・活動・外出支援 |
| 15:30 | 送迎 |

定 員：10名

利用対象者：小学校・中学校・高等学校に通われている児童

※障害児通所支援受給者証が必要になります。

営業時間：月～金曜日

13時00分～17時30分

長期休暇、祝日

9時30分～15時30分

送 迎：平日：学校～ふわり諫早

※帰りのお迎えは保護者様をお願いしております。

長期休暇・祝日はご希望に応じてご自宅までの送迎をおこないます。

コミュニケーション



写真や絵カードのような手がかりを使うことで、学校や友達に自分の思いを伝えたいという気持ちができるように支援します。できることで自信につながり、また家族も理解することで笑顔につながるようにします。

社会性や協調性を育み集団の中でのルールや関り方を学ぶ



ひとりひとりの特性に合わせてながら、小集団の中で、友達との関わり方やルールを学び、みんなと過ごすことができるように支援を行います。遊びや工作、社会体験などで、子ども達のできる力を育みます。

身体を使った遊びを通して 発達を促進します



活動を楽しみ「できた」事での達成感が味わえるプログラムを設定し、子ども達のやる気に繋げていきます。運動を行う事で、体幹を鍛え姿勢を正しく保つ、落ち着きと集中力を身につける、自分で考えて実行する力がつく事を目的とし






言葉



子どもが自発的に意思を伝えることを大切にしています。言葉だけでなく、視線・手の動き・表情等のコミュニケーション行動でのやり取りの中で、伝わる楽しさを感じて自己表現への意欲に繋がります。また、周囲の物・人・音への関心を育みながら言葉の存在に気づかせることで、発語を促し言葉の意味や使い方を学びます。

社会生活への適応

生活上のルールや地域での余暇等を本人の特性に応じて指導します。地域や学校での生活を見据え、社会生活上のルールや人との付き合い方等を児童の障害特性や年齢等の生活状況に合わせて、個別又は集団による指導を実施します。

| 〈おかいものへ いこう〉 | |
|--------------|---|
| 1. |  あるいて、コレモにいきます。 |
| 2. |  すきな おべんとうを えらびます。 |
| 3. |  レジに ならびます。 |
| 4. |  おかねを はらいます。 |
| 5. |  あるいて、ふわりにかえります。 |

未来へ繋げる支援



18歳でサービス期間満了を迎えられた後の、お子様の進路・就労先・介護等の日中の生活やグループホーム、お子様にあった未来図をご家族と一緒に考え、情報提供やサポート等も行い次へ繋げていきます。

暮らし

グループホーム
アパート
施設入所
自宅

様々な選択肢があります



活動

一般企業・進学
就労継続支援A型・B型
就労移行支援
就労支援施設の利用
生活介護